

・報告（１） 平成29年度第1層生活支援コーディネーターの活動状況について

（くらしのサポーターを除く）

1 ネットワークの構築・ニーズの把握・課題の抽出

- ① 市内の町会，在宅福祉委員会，介護関係者，ボランティア団体，大学等の会議・研修会・勉強会に参加し，関係者とのネットワークを構築するとともに，意見交換・聞き取り調査・課題の抽出などを行った。

（ ・山の手町会 ・本通町会 ・深堀町会 ・昭和町会 ・住吉町会
 ・介護付き有料老人ホーム亀田 ・有料老人ホームみやまえ
 ・コミュニティカフェ家族 ・函館大学 ・ふらっと Daimon（高齢者大学）
 ・日吉コミュニティエリア関係者 など ）

- ② 旭川市や釧路市等，市外で開催された研修会・勉強会に参加し，関係者とのネットワークを構築するとともに，他都市での地域づくりの取組みについて学んだ。

（ ・旭川市 ・釧路市 ・せたな町 ・雲南市 ・松前町 ・遠軽町
 ・八雲町 ・厚岸町 ・木古内町 ・北海道社会福祉協議会
 ・さわやか福祉財団 など ）

2 普及啓発

講演や研修会等の中で、『介護保険制度と函館市の現状』や『生活支援コーディネーターの役割』をテーマに講演し，地域での支え合いや介護予防についての普及啓発を行った。

また，介護・福祉分野以外への支え合いに関する普及啓発として，函館大学の社会人対象の講義で，助け合いの必要性や社会参加と介護予防について講演を行った。

3 第2層関連

- ① 11月14日に第2層生活支援コーディネーターのほか，渡島・檜山地域の行政職・生活支援コーディネーターを対象に，生活支援体制整備事業実務担当者研修会兼情報交換会を開催した（62人参加）。

医療経済研究機構の服部氏に，地域づくりに求められる行政とコーディネーターの役割について講演いただき，コーディネーター業務についての理解を深めたほか，参加者間で自治体を越えたネットワークの構築を行った。

- ② 地域包括支援センターが開催した，第2層協議体（亀田・神山・社協・たかおか・あさひ・よろこび）に参加し，センター職員とともに，生活支援コーディネーターの役割の説明や，グループワークを行い，生活支援体制整備事業への理解を深めた。

4 その他

第1層生活支援コーディネーターが窓口となり，近隣に限らない町会役員同士の意見交換や勉強会などを，まちづくりセンター等で行うことで，地域を越えた町会同士の交流や地域活動の強化に結び付ける。